

e-pile next

## e-pile next工法の抜群の 貫入性能なら大丈夫!

### 某共同住宅計画

本件は、六町駅からほど近い開発が進むエリアに建設される共同住宅新築計画です。

ご依頼をいただいた際、液状化考慮・引抜耐力を杭に負担することが条件であり、杭先端をGL-39.0m以深の微細砂層とすることで設計条件をクリアしました。施工面では、GL-28.0m以深から層厚10m以上続くN値20以上の硬質な砂質地盤を打ち抜く事が課題となりました。

e-pile next工法では、自社一貫体制による工事部との連携、数多くの施工実績から先行掘削を不要とした短工期と、支持先端付近による二層地盤の検討による安全性を高く評価いただき採用となりました。

実施工に於いても、先端特殊部の「高力構造」と貫入性に優れた「菱形切削孔」が抜群の威力を発揮して、確実に中間層を打ち抜いて設計深度で精度良く打ち止めし、確かな施工品質をご提供することができました。

元請様には搬入誘導や養生鉄板の安全対策等のご協力をいただき安全且つ無事完工できました。

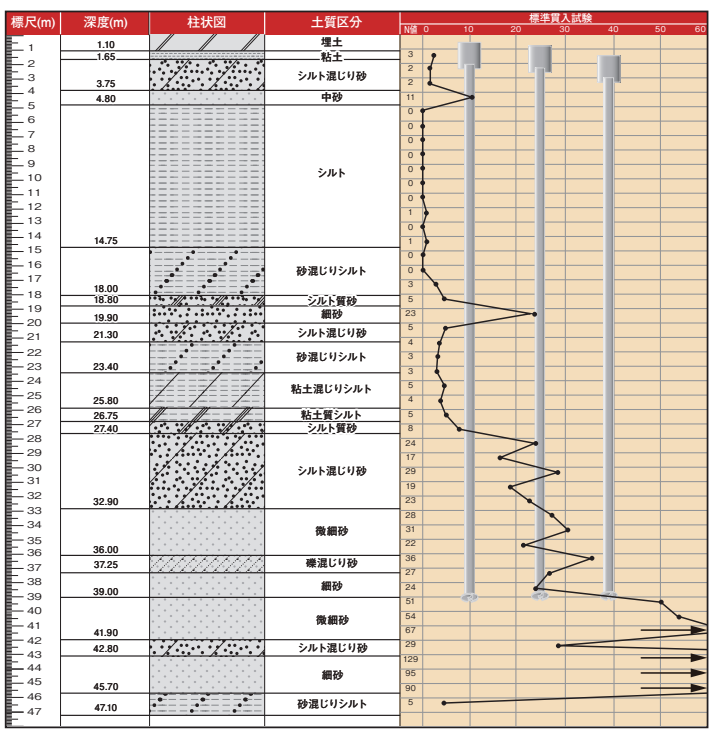
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某共同住宅計画	杭径	φ406.4, φ355.6 mm
施工地	足立区六町	拡翼径	Dw 900 mm, 800 mm, 750 mm
用途	共同住宅	拡頭径	-
構造	壁式鉄筋コンクリート造地上5階	深度	SGL -39.0m
延床面積	974.59 m <sup>2</sup>	支持力	1,386KN, 1,088KN, 983KN
工期	2024年3月26日～2024年4月11日	本数	30本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤

日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

公共土木・公共建築での活用拡大  
**国土交通省「NETIS」**

・日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) BCI評定-FD0540-01 砂質地盤 BCI評定-FD0541-01 硬質地盤 BCI評定-FD0542-01 粘土質地盤

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図

■ FEM解析図

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

🔍 e-pile

検索



## 令和6年地価公示 ~国土交通省HPより~

地価公示は地価公示法に基づいて、国土交通省土地鑑定委員会が適正な地価の形成に寄与するために、毎年1月1日時点における標準地の正常な価格を3月に公示(令和6年地価公示では、26,000地点で実施)するもので、社会・経済活動についての制度インフラとなっています。

●令和6年 全国公示価格高順位 (価格:円/㎡、変動率:%)

順位	住宅地			
	標準値の所在地	令和5年公示価格	令和6年公示価格	変動率
1位	港区赤坂1丁目1424番1 〔赤坂1-14-11〕	5,120,000	5,350,000	4.5
2位	千代田区六番町6番1外	4,280,000	4,390,000	2.6
3位	港区白金台3丁目55番4外 〔白金台3-16-10〕	3,990,000	4,260,000	6.8
4位	港区南麻布4丁目12番1 〔南麻布4-9-34〕	3,750,000	3,920,000	4.5
5位	港区南麻布1丁目35番1外 〔南麻布1-5-11〕	3,390,000	3,700,000	9.1

(価格:円/㎡、変動率:%)

順位	商業地			
	標準値の所在地	令和5年公示価格	令和6年公示価格	変動率
1位	中央区銀座4丁目2番4 〔銀座4-5-6〕(山野楽器銀座本店)	53,800,000	55,700,000	3.5
2位	中央区銀座5丁目103番16 〔銀座5-4-3〕(対鶴館ビル)	46,000,000	47,500,000	3.5
3位	中央区銀座2丁目2番19外 〔銀座2-6-7〕(明治屋銀座ビル)	39,500,000	40,900,000	3.5
4位	中央区銀座7丁目1番2外 〔銀座7-9-19〕(ZARA)	38,600,000	39,900,000	3.4
5位	新宿区新宿3丁目807番1外 〔新宿3-24-1〕(NEWNO-GS新宿)	36,600,000	38,000,000	3.8

詳しくは  
国土交通省HPを  
ご確認ください



## ワンポイント 健康コラム

### <<GWの健康管理に気をつけよう!>>

#### 黄金週間

GWに限らず連休は何かと不摂生や睡眠不足など、連休明けに不調をきたす人も多くいます。休日が続くと思えば消費カロリーを上回ると肥満になりやすくなり体にとって有害な影響があらわれます。英国のパーズ大学の研究によると、食べ過ぎと運動不足が2~3日続いただけで、体のエネルギー代謝は悪くなるといいます。休日を健康的に過ごすために実践した方がよい8つのアドバイスをご紹介します。

#### 【1】休日をどう過ごすか、計画を練る

休日は生活が不規則になりがち。「いつ・どこで・何をするか」という予定をアプリや手帳などに留めておくことで健康的な食事や運動のための時間を確保できるようになります。



#### 【2】快眠はまずは規則正しい生活から

規則正しい生活によって体内時計がホルモンの分泌や生理的な活動を調節し睡眠に備えて準備してくれます。毎日同じ時刻にベッドに入り起床時間も一定にすることが大切です。

#### 【3】夜遅い時間に食事しない

夜遅い時間に夕食をとると胃の消化活動が活発になり大脳皮質や肝臓の働きが活性化し、結果として食べ過ぎや睡眠不足につながり肥満へも近付いてしまいます。



#### 【4】朝食を抜かない

朝食をしっかりすることでその日の3食の食欲をコントロールできます。逆に朝食を抜いて空腹でいると反動で食べ過ぎてしまう恐れがありますので気をつけましょう。



#### 【5】食事はシンプルに健康的に

休暇中は外食や調理済み食品を利用する頻度も増えると思います。カット野菜や低脂肪の乳製品、精白されていない米や全粒粉のパンなど手軽なものでも健康的な食品を心掛けましょう。

#### 【6】ストレスをためない

休暇には想定外の用事が入り忙しくなり、さらに生活が乱れやすくなります。この時期に外せない予定を作りすぎないようにして、余裕をもって計画を立てましょう。

#### 【7】運動を続ける

30分の適度な運動を週に5日行うのが理想ですが、難しい場合は1日に10~15分のウォーキングなどの運動を1日に2回取り入れるようにしましょう。



#### 【8】アルコールに注意

アルコール類にもカロリーがあり更には食欲を増進する作用があるため、飲み過ぎは肥満につながります。この時期は高カロリーの食事が多いため、相乗的に悪影響があらわれてしまいます。



## 経理マンが行く

### 初夏

### 桜も散り、そろそろ初夏の季節

桜も散り、そろそろ初夏の季節に入ってきました。気圧の変化も激しい時期となりますのでご自愛ください。さて、やっと花粉が落ちてきたかと思いきや、黄砂が飛来してきています。冬の終わりから初夏あたりにかけて毎年発生する黄砂ですが、外に干した洗濯物に付着したり目の中や喉や体内に入ってきたり、あまり嬉しい春の風物詩とは言えませんね。そんな黄砂ですが、なぜ春に頻発するのか、知っていましたか?

黄砂とは、中国やモンゴルに位置するタクラマカン砂漠、ゴビ砂漠、黄土高原といった東アジア内陸部の乾燥地域の砂塵が偏西風によって上空に巻き上げられ、東アジア広範囲(日本を含む)に飛散して地上に降り注ぐ気象現象です。

黄砂自体は一年を通して実は発生しているのですが、中でもピークと言われているのが3~5月頃なのです。これは、冬季の間、高気圧の影響で弱かった風が、春の低気圧の勢力が発達することによって強まり、前述した乾燥地域を通過するためだと考えられています。ちなみに夏以降は植物や降水量が増えるため、黄砂は一気に少なくなります。黄砂は発生地に近ければ近いほど高濃度かつ粒子も多く、また飛来する頻度も高い傾向にあります。黄砂には主成分である二酸化ケイ素、付着成分である微生物や金属などが含まれており、これらが原因となって肺や鼻の炎症を誘発し、アレルギー反応を活性化させることが分かっています。黄砂が引き起こされている主な症状は、以下になります。

- ・咳、くしゃみ、鼻水などの呼吸器症状
- ・肺炎や気管支炎の発症
- ・目のかゆみや充血などの眼科症状
- ・皮膚の痒み、かぶれ、湿疹などの皮膚症状
- ・発熱、心疾患への影響



調査では、黄砂後の約1週間は小学生以下の喘息患者が発作により入院するリスクが1.8倍、小学生では3倍以上になったことが分かっています。でも、悪い事ばかりではなく、黄砂が飛散することによって土壌や海洋へミネラルが供給され、植物やプランクトンの生育を促進し、結果的に土壌を肥やす働きをすることがあると判っています。とある研究では、黄砂に含まれる鉄やアルミニウムなどが、海洋のプランクトンやハワイの森林生育に貢献しているとの結果も出ています。また、同じく黄砂に含まれる炭酸カルシウムには酸性雨を中性、またはアルカリ性に変換する中和作用があるため、酸性雨による被害軽減にも貢献していると考えられています。ただし、通過する地域によっては硫酸化物、窒素酸化物、といった汚染物質を吸着し、これらの汚染物質の中でも特に粒子の小さい「PM2.5」は、黄砂と混ざって国や地域一帯を覆うと、その場所に甚大な大気汚染をもたらす可能性があります。まだ日本は韓国などに比べると被害はそう被ってはいませんが、まずは黄砂で自分の体調を崩してしまわないように、一人一人ができる範囲で対策していくことが大切だと言えるでしょう。

